

項目	内容
名称	キャッツクロー [英]Cat's claw [学名]Uncaria tomentosa (Wil l d.) DC. 、 Uncaria guianensis (Aubl.) J.F.Gmel.
概要	キャッツクローは、中南米を産地とする蔓性常緑木である。樹皮の切れ目から出る樹液が飲用されてきた。
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食薬区分 ・ 全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルカロイド (リンコフィリン (rhynchophylline) 、五環系オキシインドールアルカロイド (pentacyclic oxindole alkaloid : POA) 、pteropodine、isopteropodine、uncarine Eなど) 、キノブ酸グリコシド (quinovic acid glycosides) 、タンニンなどを含む (21) 。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルカロイド類をUV検出器 (245 nm) 付HPLC-MSにより分析した報告がある (PMID:11488460) (PMID:14979528) 。
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	<p>メタ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年5月までを対象に12個のデータベースで検索できた無作為化プラセボ対照試験2報について検討したメタ分析において、キャツクロー抽出物の摂取は変形性関節症の安静時および夜間の痛み軽減との関連は認められなかった (PMID:28872719)。 <p>RCT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膝の変形性関節症に罹患している成人45名 (45～75歳、試験群30名、ペルー) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、キャツクロー抽出物を100 mg/日、4週間摂取させたところ、膝を動かした際の痛みの軽減が認められた。一方、安静時の痛みや膝の腫れに影響は認められなかった (PMID:11603848)。 ・6ヶ月以上スルファサラジン (炎症性腸疾患治療薬) またはヒドロキシクロロキンを服用しているリウマチ罹患患者40名 (試験群21名、平均53.1±13.4歳、オーストリア) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、キャツクロー根酸抽出物20 mg/カプセルを含む特定の製品を3回/日、24週間摂取させたところ、関節痛の軽減が認められた (PMID:11950006)。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。	
肥満	調べた文献の中に見当たらない。	
その他	<p>RCT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な成人女性48名 (試験群24名、平均46.4±4.2歳、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、キャツクロー熱水抽出物125 mg含有飲料50 mL/日を12週間摂取させたところ、皮膚の状態 (頬角層水分量、シワ平均深度、シワ最大深度、シワ最大幅、シワ個数、シワ体積率) に影響は認められなかった (2017174349)。 	

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
[\(PMID:11488460\) Planta Med. 2001; 67\(5\); 447-50.](#)
[\(PMID:14979528\) Phytochem Anal. 2004;15\(1\):55-64.](#)
[\(PMID:10969720\) Phytomedicine. 2000 Jul;7\(4\):273-82.](#)
[\(PMID:11950006\) J Rheumatol. 2002 Apr;29\(4\):678-81.](#)
(21) 薬用植物の宝典 グリーンファーマシー CMPジャパン デューク
[\(PMID:11603848\) Inflamm Res. 2001 50:442-448.](#)
(2005222152) 小児科. 2005;46(6):1061-5.
(79) The Essential Guide to Herbal Safety Elsevier (2005)
(81) Herbal Medicines Third edition (Pharmaceutical Press)
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(PMID:9375835\) Nephron. 1997;77\(3\):361.](#)
[\(PMID:21928376\) Phytother Res. 2012 Mar;26\(3\):458-61.](#)
(101) Bol Soc Biol Concep. 1998;69:141-5.
(102) PCT Int. Appl. WO 1982. 821130 A1
[\(PMID:30602711\) Molecules 2018;24\(1\):137.](#)
(103) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修
(104)健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規
(2017174349) 応用薬理 . 2016;91(1-2):19-24.
[\(PMID:28872719\) Phytother Res. 2017; 31\(11\): 1676-85.](#)
[\(PMID:18712519\) Eur J Clin Pharmacol. 2008 Dec;64\(12\):1235-6.](#)